

用語解説

ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Lineの略で、非対称型デジタル加入者回線と訳され、既存の銅線電話加入線を使った非対称デジタル加入者線と、これを用いた高速データ伝送技術の両方の意味で使われます。技術的には、音声通話で使用されていない、高周波数の信号を流すことで、データ通信を行います。

データ量の多い下りの伝送速度を、上り回線よりも高速に設定(非対称)することにより、さらに効率的な回線利用を図っています。

ASP

Application Service Providerの略で、情報システムのアウトソーシング(外部委託)ビジネスとして、最終ユーザーがインターネットを介してアプリケーションを利用できる機能を提供する事業(あるいは事業体)を指します。ASPの利用者は、対価として、利用料をASP企業に支払います。ASP企業は、複数の利用者からアプリケーションサービスを受託することで、ハードウェアやソフトウェアなどを効率的に運用し、コスト低減を図ることができます。このために、ASPの利用者は、独自にアプリケーションを利用する場合に比べ、ハードウェアやソフトウェア、運用・管理などの手配を行わずに、安価なコストでサービスを利用することができます。

CRM

Customer Relationship Managementの略で、企業が情報システムを応用して顧客管理を行う手法です。顧客情報(プロフィール、コンタクト履歴、購入履歴など)を一元管理し、部門間で共有することにより、顧客満足度を高める企業活動に反映します。顧客を自社の優良顧客としてつなぎ止め、収益の最大化を図ります。

CTI

Computer-Telephony Integrationの略で、音声系のネットワーク機器である電話やファクシミリを情報システムに統合する技術です。企業が顧客サービスとして設けるサポートセンターや、お客様相談室などで、電話応対業務に利用されます。顧客データベースと連携させたシステムを利用することにより、顧客情報(プロフィール、応対履歴、購入履歴など)を参照しながら的確に応

対することが可能になります。

EC

Electronic Commerceの略で、情報ネットワークを利用して電子的に行う商取引、特にインターネットを通じて行われる電子商取引を指すことばとして使われます。従来はEDI(別項)技術を使った企業間どうしの電子取引が行われていましたが、インターネットの普及により、一般消費者の利用するECが拡大しています。

eMP

Electronic Marketplaceのことで、前項のECが行われる、情報ネットワークを利用したバーチャル(仮想)な商取引市場を指します。eMPには、電子部品や自動車部品、さらに流通といった業界別のeMPと、ユーザー企業ごとに個別仕様を持つプライベートなeMPがあります。

EDI

Electronic Data Interchangeの略で、企業間商取引にかかわる情報を電子化し、交換する仕組みを指します。受発注や見積もり、決済、入出荷データを電子書式にし、専用線やVPN(Virtual Private Network: インターネットを利用した仮想の専用線)を利用して送受信します。インターネットの普及に伴い、業界を越えた標準化、オープン化が進みつつあります。

IPv6

Internet Protocol Version 6のことで、現在標準的に使用されているIPv4に代わる次世代のインターネットプロトコルです。インターネットの急速な普及により、アドレス数(接続される個々の機器に割りふられる固有番号)の不足を解決するために作られました。IPv6では、128ビットのアドレス空間を持ち、1兆の1兆倍のアドレス数の利用が可能となります(IPv4は32ビット、最大43億アドレス)。事実上無限に近いアドレス数の利用が可能のため、家電製品をはじめとするさまざまな機器に固有IPアドレスを付加することができるようになり、ネットワーク上での管理が可能となります。

アドレス空間拡大以外の変更点としては、セキュリティ機能や、優先度に応じたデータの送信などがあります。

● MRO

Maintenance, Repair, and Operationの略です。一般的には、企業内で日常的に使用される消耗品や機器の補修用品などの受発注，決済，配達手配をネットワーク上で行う，企業のための電子商取引のサービスの一つで，MRO調達と言われています。

● PDA

Personal Digital Assistantのことで，手のひらに収まる程度の大きさの個人用携帯情報端末を指します。液晶表示装置や外部との接続端子を持ち，電池や専用バッテリーで作動させます。携帯電話やPHSを介してインターネットに無線接続する機能や，スケジュール，電話番号，アドレスなどの個人情報を管理するPIM(Personal Information Manager)機能を持っています。

● PKI

Public Key Infrastructureの略で，公開かぎ暗号を用いて署名によるユーザー認証やデータの一貫性，否認防止，暗号化による機密性などを実現するための基盤です。本人と公開かぎの関連づけが正しいことを保証するための「公開かぎ証明書」，公開かぎ証明書を発行する，信頼できる「認証機関」，およびその公開かぎ証明書の管理技術・運用技術基盤の総称として用いられます。

● VoIP

Voice over Internet Protocolの略で，インターネット方式〔TCP/IP(Transmission Control Protocol/Internet Protocol)方式〕のネットワークを利用し，音声データを送受信する技術です。IP網(インターネット，イントラネット)にパソコンやIP網用電話機を直結するタイプと，既存電話交換機間をIP網で接続して音声データをIP伝送するタイプがあります。企業のネットワークでは，後者のタイプから急速に実用化が始まっています。

● 公開かぎ暗号

公開かぎ暗号とは，異なる二つの「かぎ」を対にして使用する方式で，一方のかぎで暗号化したデータは，もう一方のかぎでしか復号できない，さらに，一方のかぎからもう一方のかぎを生成することができないという特徴を持っています。

かぎのうちの一方は秘密裏に保管し，「秘密かぎ」と呼びます。もう一方のかぎは一般に広く開示し，「公開かぎ」と呼びます。一方のかぎを公開してしまうことができるので，受信側へのかぎの受け渡しや，受信後の管理を秘密裏に行うことが不要となります。送信者が公開された受信者の公開かぎでデータを暗号化し，それに対応する秘密かぎを持った受信者が復号することで，情報保護，すなわち機密性を確保することができます。

また，送信者が自分の秘密かぎでデータを暗号化し，受信者がその秘密かぎに対応する公開かぎで復号することによって，送信者(秘密かぎの所有者)が作成したデータであることを確実に証明することができるので，本人確認のための認証やデータの改ざん防止を図ることができます。

● ブロードバンド

ブロードバンドは，直訳すると「広帯域」を意味します。通常は，ユーザー(個人，企業)が幹線ネットワークに接続する回線(アクセス回線)について用いられ，高速な通信回線によって実現されるネットワークと，そのネットワークを利用したサービスの両方を指します。ブロードバンドを数値で定義づける規準はありませんが，現時点では，ISDNの128 kビット/s(ビット/sは1秒間に通信が可能なビット数)に対して，おおむね500 kビット/s以上の速度の回線をブロードバンドと呼んでいます。光ファイバ，ケーブルテレビ回線，xDSLなどの有線方式や，無線技術を使った方式があります。現在最も高速なのが光ファイバ方式で，10 M～100 Mビット/sの通信速度を得ることができます。

● ユビキタス

ユビキタスとは，ラテン語を語源とする，「(神は)いたるところに存在する(遍在する)，どこにもある」という意味の形容詞です。1989年に，米国ゼロックス社パルアルト研究所のマーク・ワイザー氏がコンピュータの発展段階の中で次代のコンピュータのあり方を提示するために用いたことばです。その概念は，いたるところにコンピュータが存在し，ネットワークによってつながれ，自律的に連携し，いろいろな場面で人間の生活をサポートする環境になるということです。この環境では，利用者はコンピュータ自体の存在や，どこのコンピュータの情報を利用しているかなどを意識することなく，さまざまな手続きや処理を行うことができるようになります。